

報道関係者各位

**サイバーセキュリティ対策強化に必要な「サイバーセキュリティマインド」を調査
～一般クラスが最も低く、企業内のサイバーセキュリティマインドの差が明らかに！～**

ハッカー対策サービスを展開するグローバルセキュリティメーカーの株式会社サイバーセキュリティクラウド(本社:東京都品川区、代表取締役社長 兼 CEO:小池 敏弘、以下「当社」)は、全国の有職者(経営者含む)626名を対象に、サイバーセキュリティ対策強化に必要な「サイバーセキュリティマインド」に関する調査を実施しました。

サイバー攻撃が増加し一段と複雑化している中、当社が2022年8月に実施した調査[※]では「サイバーセキュリティ対策が充分でない＝サイバー防御力が低い」業種が多いことが明らかになりました。そこで、サイバーセキュリティ対策強化に必要な意識を「サイバーセキュリティマインド」とし、経営者を含む有職者を対象に調査を行い「サイバーセキュリティマインド」の役職間での隔たりを明らかにしました。

※16業種別サイバーセキュリティ意識調査 <https://prt看imes.jp/main/html/rd/p/000000289.000009107.html>

【TOPICS】

- 「勤めている会社で、サイバー攻撃対策は必要だと思う」と回答した人は全体で70.1%。
しかし、一般クラスは半数以下(46.8%)と、サイバーセキュリティマインドが浸透していない結果に。**
- 「現在勤めている会社で、サイバー攻撃対策をしている」と回答した人は半数以下(47.3%)。
一般クラスではわずか21.3%と認識不足が浮き彫りに。**
- 80%以上がサイバーセキュリティ製品を導入していると回答するも、
「WAFやUTMを導入している」といった回答数は一桁に留まり、多層防御をしている可能性は低い。**
- サイバーセキュリティを強化したきっかけに「元から必要性を感じていた」と回答した人は、
全体でわずか32.8%。**
- 経営者・役員クラス以外はセキュリティ対策強化に対し「権限がない」と回答する人が多く、
経営者の判断次第では大きな被害に遭う可能性も。**
- 一般クラスでは私生活におけるサイバーセキュリティマインドの低さも露呈。**

【調査概要】

調査対象 : 全国の有職者(経営者含む)
 年齢 : 26歳～69歳
 サンプル数 : 626 サンプル
 役職 : 経営者・役員クラス/本部長・部長クラス/課長クラス/係長・主任クラス/一般クラス
 調査方法 : インターネットリサーチ
 調査期間 : 2023年1月20日～2023年1月24日

※ 本リリースの調査結果を引用する際は「サイバーセキュリティクラウド調べ」と記載ください。

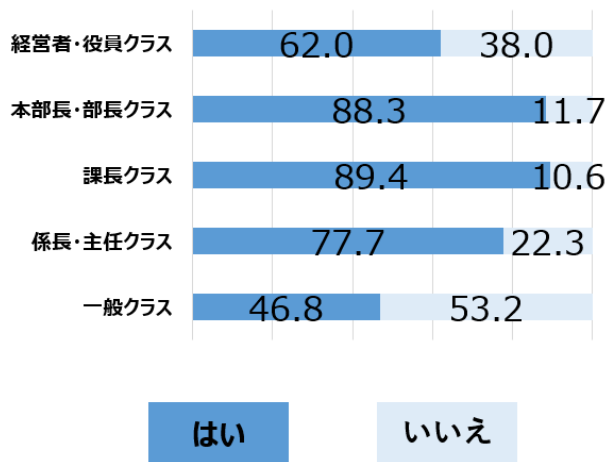
■「勤めている会社で、サイバー攻撃対策は必要だと思う」と回答した人は全体で70.1%。
 しかし、一般クラスは半数以下(46.8%)と、サイバーセキュリティマインドが浸透していない結果に。

自身が勤める企業でのサイバーセキュリティ対策強化の必要性に関する質問に全体で約70%が「必要である」と回答しました。

役職別では経営者・役員クラス:62.0%、本部長・部長クラス:88.3%、課長クラス:89.4%、係長・主任クラス:77.7%、一般クラス:46.8%となり、一般クラスは半分以下しか必要と思っていないことが分かりました。

役職に就くとサイバーセキュリティマインドが高まる傾向にありますが、経営者・役員クラスは他の役職に比べて低く、サイバーセキュリティ対策を強化できていない原因の一つとして企業内での意識の差があることが見受けられました。

あなたがお勤めの会社で、サイバー攻撃対策(サイバーセキュリティ強化)は必要だと思いますか。
 (役職別)

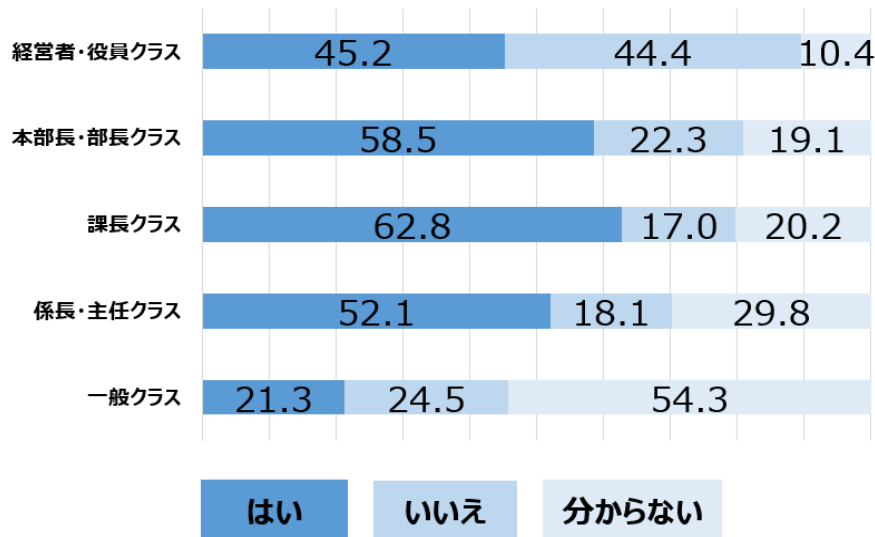


■「現在勤めている会社で、サイバー攻撃対策(サイバーセキュリティ強化)をしている」と回答した人は半数以下(47.3%)。一般クラスではわずか21.3%と、認識不足が浮き彫りに。

自身が勤める企業のサイバー攻撃対策の有無について質問したところ「対策している」と回答した人は全体では半数以下(47.3%)という結果となりました。

経営者・役員クラスで 45.2%、本部長・部長クラスで 58.5%、課長クラスでは 62.8%、係長クラスでは 52.1%、一般クラスで「はい」と答えた人は 21.3%で、「わからない」と回答した人が 2 分の 1 以上の 54.3%と、自社のサイバーセキュリティ対策事情について知らない人が多いことが分かりました。

**あなたがお勤めの会社で、サイバー攻撃対策（サイバーセキュリティ強化）はしていますか。
（役職別）**



**■80%以上がサイバーセキュリティ製品を導入していると回答するも、
WAF や UTM を導入している企業は一桁に留まり、多層防御をしている可能性は低い。**

「あなたがお勤めの会社では、具体的にどのようなサイバー攻撃対策(サイバーセキュリティ強化)を行っていますか」という質問に対して、上位の回答は①ウィルスなどを防ぐ製品の導入が 81.4%、②ファイヤーウォールが 43.2%、③WEB サイトの制限が 38.9%となりました。

一方、下位の回答は①セキュリティオペレーターサービス導入が 4.7%、②WAF の導入は 5.7%、③「UTM 導入」と「サイバーセキュリティ対策に関するコンサルの導入」とは同率で 9.1%になりました。ウィル

スなどを防ぐ製品を導入している企業は多いですが、WAF や UTM の導入率は低く、多層防御を実施していない可能性があることが明らかになりました。

あなたがお勤めの会社では、具体的にどのようなサイバー攻撃対策を行っていますか。		
上位1位	ウイルス感染などを防ぐ製品の導入	81.4%
上位2位	ファイヤウォール	43.2%
上位3位	WEBサイト制限 (WEBフィルタリング) サービスの導入	38.9%
下位1位	SOC (セキュリティオペレーションセンター) サービスの導入	4.7%
下位2位	オウンドメディアやHDなどを守るサイバーセキュリティシステム (WAF) の導入	5.7%
下位3位	UTM、サイバーセキュリティ強化 (Pマーク・ISMSの取得・サイバーセキュリティ監査などを含む) に関するコンサルティングサービスの導入	9.1%

■サイバーセキュリティを強化したきっかけに「元から必要性を感じていた」と回答した人は、全体でわずか 32.8%。

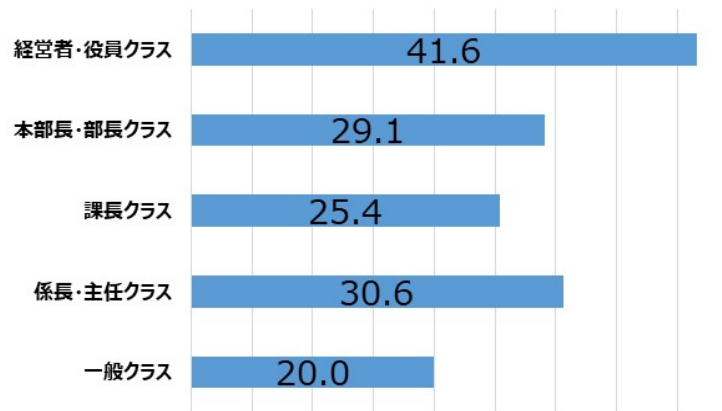
「あなたがお勤めの会社で、サイバーセキュリティを強化した一番のきっかけは何ですか」という質問に対して、全体では「元から必要性を感じていた」と答える人が 32.8%、次いで多かったのが「ニュースなどでサイバー攻撃被害が多く取り上げられているから」が 16.9%、「分からない」が 13.9%でした。

「あなたがお勤めの会社で、サイバーセキュリティを強化した一番のきっかけは何ですか。」		
1位	元から必要性を感じていたから	32.8%
2位	ニュースなどでサイバー攻撃被害が多く取り上げられているから	16.9%
3位	分からない	13.9%

役職別にみると、経営者・役員クラスでは「元から必要性を感じていた」が約半数(41.6%)で最多の回答となりました。一般クラス以外の役職でも同様に、本部長・部長クラスは 29.1%、課長クラスで 25.4%、係長・主任クラスで 30.6%、一般クラスで 20.0%という結果になりました。

また、一般クラスでは 4 人に 1 人(25%)が「わからない」と答え、最も多い回答となりました。改めて企業全体でのサイバーセキュリティマインドが統一されておらず、一般クラスのサイバーセキュリティマインドが低いことが判明しました。

元から必要性を感じていた (役職別)



■経営者・役員クラス以外はセキュリティ対策強化に対し「権限がない」と回答する人が多く、経営者の判断次第では大きな被害に遭う可能性も。

「あなたがお勤めの会社で、サイバー攻撃対策(サイバーセキュリティ強化)はしていない、または必要ないとお答えになった方に伺います。その理由を教えてください。」という質問では、全体の結果で最も多かった回答が①「権限がない・提言する立場にない／なぜしていないかわからない」が 27.6%、②「サイバー攻撃に遭う可能性が低いと考えている」が 19.2%、③「費用が高い(対策に充てる費用に余裕がない)」15.7%という結果になりました。

また、役職別に最多の回答を見てみると、経営者・役員クラスでは「サイバー攻撃に遭う可能性が低いと考えている」が5人に1人(23.7%)という結果になり、それ以外の役職では、本部長・部長クラスは「どの様に備えなければいけないのか分からない(16.7%)」「権限がない・提言する立場にない／なぜしていないかわからない(16.7%)」、課長クラス(30.0%)・係長・主任クラス(41.4%)・一般クラス(60.4%)では「権限がない・提言する立場にない／なぜしていないかわからない」という結果になりました。

経営者のサイバーセキュリティ対策導入判断により、企業のサイバー攻撃を受けるリスクも変化することが明らかとなりました。しかし、経営者層が対策を強化しない理由の一つとして、サイバー攻撃に遭う可能性が低いと考えていることから、被害に遭った際に、業績を揺るがすような重大な被害に遭う可能性が高いと考えられます。

あなたが勤める会社で、サイバー攻撃対策（サイバーセキュリティ強化）はしていない、または必要ないとお答えになった方に伺います。その理由を教えてください。（役職別結果）		
役員・経営者	サイバー攻撃に遭う可能性が低いと考えている	23.7% (5人に一人)
本部長・部長	どの様に備えなければいけないの分からない	16.7%
	権限がない・提言する立場にない／なぜしていないかわからない	
課長	権限がない・提言する立場にない／なぜしていないかわからない	30.0%
係長・主任	※上記同様	41.4%
一般社員	※上記同様	60.4%

■一般クラスでは私生活におけるセキュリティマインドの低さも露呈。

「ご自身が『利用者（消費者・生活者）側』の立場で、サイバーセキュリティに対してどの様な点に気を付けていますか」という質問では、最多の回答が①「怪しい URL リンクなどはクリックしないようにしている」42.2%、②「PC やスマートフォンなどでウィルス対策ソフトなどを契約して利用している」35.3%、③「OS やアプリケーションなどのアップデートをするようにしている」28.6%という結果になりました。

ご自身が「利用者（消費者・生活者）側」の立場で、サイバーセキュリティに対してどの様な点に気を付けていますか。（全体結果）		
1位	「怪しいURLリンクなどはクリックしないようにしている	42.2%
2位	PCやスマートフォンなどでウィルス対策ソフトなどを契約して利用している	35.3%
3位	OSやアプリケーションなどのアップデートをするようにしている	28.6%

役職別に見てみると、係長・主任クラス以上では「怪しい URL リンクなどはクリックしないようにしている」が最も意識している対策で、経営者・役員クラスで 43.2%、本部長・部長クラスで 40.4%、課長クラスで 46.8%、係長・主任クラスで 48.9%の結果となりました。一般クラスでは「特に気を付けていない」が 33.0%で最多の回答となり、私生活においても役職によってサイバーセキュリティマインドの差があることが明らかになりました。

ご自身が「利用者（消費者・生活者）側」の立場で、サイバーセキュリティに対してどのような点に気を付けていますか。（役職別結果）		
経営者 役員	怪しいURLリンクなどはクリックしないようにしている	43.2%
本部長 部長	※上記同様	40.4%
課長	※上記同様	46.8%
係長 主任	※上記同様	48.9%
一般社員	特に気を付けていない	33.0%

■株式会社サイバーセキュリティクラウド 代表取締役社長 兼 CEO 小池敏弘 のコメント

昨今、サイバー攻撃が社会課題になっており、各企業でサイバーセキュリティ対策の強化がより求められるようになりました。本調査によると、経営者・役員クラスと一般クラスとのサイバーセキュリティマインドに差があり、サイバー攻撃対策を必要と感じている意識の足並みが揃っていないことが判明しました。この意識の差から、企業がサイバー攻撃を受けるリスクを高める恐れがあります。日常生活におけるサイバーセキュリティマインドも一般クラスが低いことから、経営者・役員クラスが率先して、組織内でのサイバーセキュリティ教育を始め、サイバーセキュリティ強化の啓発に取り組む必要があります。

■株式会社サイバーセキュリティクラウドについて

会社名：株式会社サイバーセキュリティクラウド

所在地：〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-1-1 JR 東急目黒ビル 13 階

代表者：代表取締役社長 兼 CEO 小池敏弘

設立：2010 年 8 月

URL：<https://www.cscloud.co.jp>

主な展開サービス：

- クラウド型 WAF『攻撃遮断くん』：<https://www.shadan-kun.com>
- パブリッククラウド WAF の自動運用サービス『WafCharm』：<https://www.wafcharm.com>
- 改竄検知機能を搭載した『WafCharm for AWS Marketplace』：<https://www.wafcharm.com/jp/aws-mp>
- 厳選された AWS WAF 用のルールセット『Cyber Security Cloud Managed Rules for AWS WAF』：
<https://aws.amazon.com/marketplace/seller-profile?id=baeac351-6b7c-429d-bb20-7709f11783b2>
- 脆弱性情報収集・管理サービス『SIDfm』：<https://sid-fm.com>



■報道関係者からの問い合わせ先

株式会社サイバーセキュリティクラウド PR 事務局(株式会社イニシャル 内)

担当:木村・新貝・赤木・石坪・草野

TEL:03-5572-7334

FAX:03-5572-6065

E-Mail:csc-pr@vectorinc.co.jp

株式会社サイバーセキュリティクラウド

経営企画部 広報担当:竹谷・川崎

TEL:03-6416-9996

FAX:03-6416-9997

E-Mail:pr@cscloud.co.jp